

プログラムの概要

プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム 小児科・産婦人科コース
 プログラム責任者：上牧勇

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、小児科または産婦人科、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

小児科・産婦人科プログラムの基本

小児科または産婦人科を主科とする。主科以外の必修科目として内科系6か月、救急1か月、麻酔科2か月とする。小児科を選択した場合、交流科として産婦人科2か月、外科1か月、産婦人科を選択した場合、交流科として外科2か月、小児科1か月が必修となる。救急については、救急外来での1ヶ月の研修及びオリエンテーション後2年間の日当直（月4回として、96回～104回で3か月間に相当）で研修する。2年目は1か月間の地域医療研修を診療所等で実施し、6か月間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。研修は主科から開始する。2年目主科研修期間内に慶應大学病院などの専門病院での研修も考慮される。また、各科別プログラムとは別に、全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：1学年4名、2学年合わせて8名

開始日：毎年4月1日 終了日：毎年3月31日

小児科を主科とした場合の研修日程の1例

1年目	小児科 2か月	内科系 6か月	小児科 2か月	救急	交流科 外科 1か月
2年目	麻酔科 2か月	選択科目 6か月	交流科 産婦人科 2か月	地域	小児科 1か月

産婦人科を主科とした場合の研修日程の1例

1年目	産婦人科 1か月	内科系 6か月	救急	交流科 外科 2か月	麻酔科 2か月
2年目	産婦人科 2か月	交流科 小児科 1か月	選択科目 6か月	地域	交流科 産婦人科 2か月